

東北地方 1か月予報

(12月6日から1月5日までの天候見通し)

平成15年12月5日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

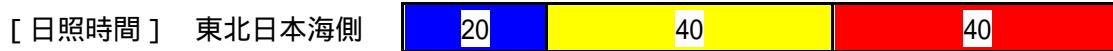
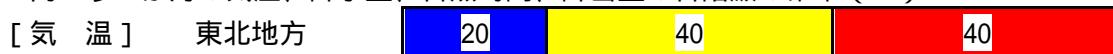
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となりますが長続きしないでしあう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は東北日本海側で平年並か少なく、東北太平洋側で平年並、日照時間は東北日本海側で平年並が多く、東北太平洋側で平年並か少ない、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

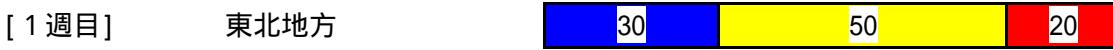
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は高い、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 12月 6日(土) ~ 1月 5日(月)

1週目 : 12月 6日(土) ~ 12月 12日(金)

2週目 : 12月 13日(土) ~ 12月 19日(金)

3~4週目 : 12月 20日(土) ~ 1月 2日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は12月12日

3か月予報:12月25日(木) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	降雪量(cm)	気温()		
					1週目	2週目	3~4週目
大船渡	2.9	36.4	141.0	0	4.3	3.2	2.3
新庄	0.8	208.5	37.0		2.3	1.1	0.2
若松	1.4	85.5	71.8	94	2.7	1.8	0.8
深浦	1.9	121.9	32.9	50	3.3	2.2	1.4
青森	0.7	145.8	54.2	192	2.2	1.0	0.1
むつ	0.7	92.1	73.3		2.0	0.9	0.1
八戸	1.1	41.4	128.1	17	2.5	1.4	0.5
秋田	2.2	153.8	46.2	57	3.6	2.5	1.6
盛岡	0.2	60.8	106.6	47	1.6	0.5	-0.4
宮古	2.5	37.6	152.3	0	3.9	2.8	1.9
酒田	3.8	192.8	41.7	36	5.2	4.1	3.2
山形	1.8	81.1	83.8	73	3.2	2.1	1.2
仙台	3.7	28.9	144.7	17	5.2	4.1	3.1
石巻	2.8	26.8	155.7		4.2	3.1	2.2
福島	3.6	35.1	130.0	25	5.0	4.0	3.0
白河	2.2	26.5	155.6		3.6	2.6	1.6
小名浜	5.6	37.0	184.4	0	6.9	5.9	5.0

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはあります、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.3~+0.6	78~104	96~104	60~110
東北日本海側	-0.4~+0.6	90~107	89~106	73~108
東北太平洋側	-0.3~+0.6	64~107	98~104	48~112

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.3~+0.7
東北日本海側	-0.6~+0.7	-0.6~+0.6	-0.4~+0.6
東北太平洋側	-0.6~+0.6	-0.6~+0.7	-0.3~+0.7

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率(階級の定義から各階級とも同じで33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1よりも多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年12月5日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(12月6日～1月5日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となります。長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1週目(12月6日～12月12日)：

明日(6日)は気圧の谷や前線の影響で雨となる見込みです。その後は冬型の気圧配置となり、東北日本海側では曇りや雪でふぶく所もありますが、東北太平洋側ではおおむね晴れるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(12月13日～12月19日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となります。長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雨または雪の日が少なく、東北太平洋側は曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3～4週目(12月20日～1月2日)：

気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となるでしょう。平年と同様に、東北日本海側では曇りや雪または雨の日が多く、東北太平洋側では晴れの日が多いでしょう。

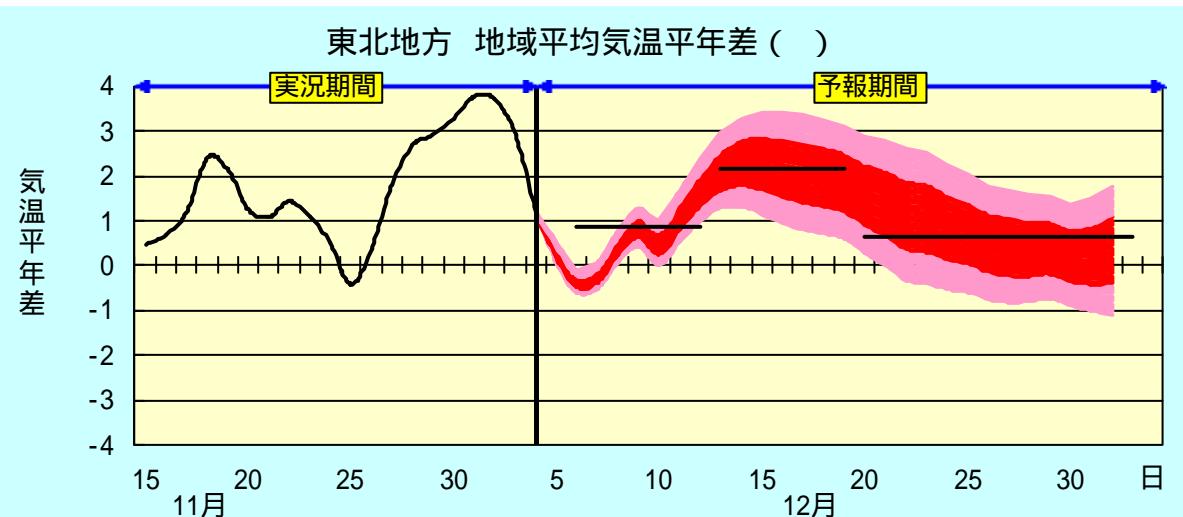
平均気温は平年並でしょう。

平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	4.6日	1.1日	1.1日	2.4日
東北太平洋側	17.0日	4.0日	4.3日	8.7日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目は「高い」、3～4週目は「平年並」と予測している。予報は、週間予報の資料から1週目を「平年並」とする。なお、数値予報の信頼度は大きい。

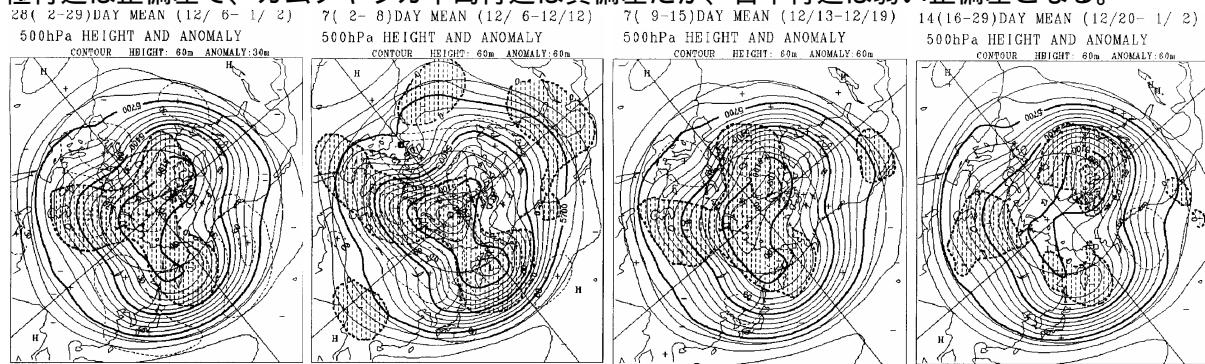


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極付近やカムチャツカ半島付近は負偏差、バイカル湖付近から日本付近にかけては広く正偏差に覆われる。偏西風の流れは順調で、気圧の谷は数日の周期で通過し、通過後は一時的に冬型の気圧配置となる見込み。

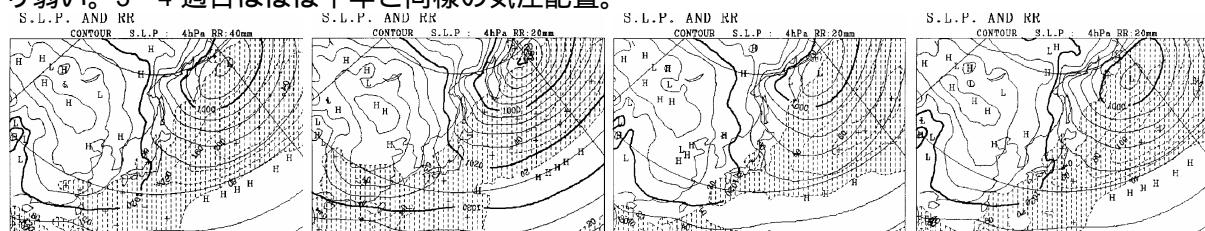
週別に見ると、1週目はバイカル湖付近に中心を持つ正偏差、カムチャツカ半島付近に中心を持つ負偏差のどちらも明瞭だが、日本の南にも正偏差の中心があり、日本付近は正偏差に覆われる。2週目は極東中緯度帯は広く正偏差に覆われ、沿海州にその中心が予想される。3~4週目は極付近は正偏差で、カムチャツカ半島付近は負偏差だが、日本付近は弱い正偏差となる。



地上気圧と降水量：

月平均では、大陸の高気圧の西日本への張り出しがやや強いが、ほぼ平年と同様の気圧配置。

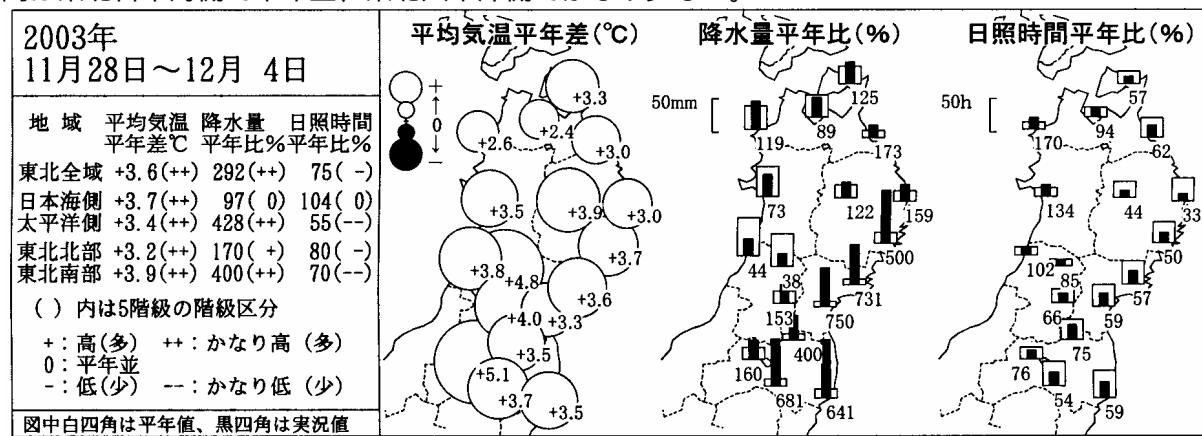
週別に見ると、1週目は大陸の高気圧、アリューシャン低気圧のどちらも平年より強く、北日本では西高東低の冬型の気圧配置となる。2週目は、アリューシャン低気圧は平年より強いが大陸の高気圧は弱く、日本付近の等圧線の間隔は広い。東北日本海側には降水域が広がるが平年より弱い。3~4週目はほぼ平年と同様の気圧配置。



4. 最近1週間（11月28日～12月4日）の天候の経過

この期間、中頃までは低気圧や日本の南東海上を北東に進んだ台風第21号の影響で天気がぐずつき、特に29~30日は東北太平洋側でまとまった雨となった。また、南から暖かい空気が入り気温がかなり高くなった。その後は冬型の気圧配置となって、東北日本海側では雪または雨、東北太平洋側では概ね晴れた。なお、12月4日に福島で初雪、階上岳で初冠雪を観測した。

平均気温はかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側で平年並、東北太平洋側でかなり少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)

5. 2003年季節現象の初日や初冠雪

2003年(平成15年) 季節現象(初日)

官署名	初 霜			初 氷			初 雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.11	10.23	10.24	11.11	10.29	11. 9	11.22	11. 7	11. 2
深浦	11.24	11.17	11.30	11.24	11.19	11. 9	11.22	11.10	11. 2
八戸	11.11	10.27	11. 4	11.14	11. 2	11. 4	11.22	11.11	11. 9
秋田	10.27	11. 6	11.16	11.24	11.13	11.10	11.22	11.12	11. 2
盛岡	10.27	10.18	11. 4	10.27	10.24	11. 4	11.22	11. 8	10.28
宮古	10.27	10.31	11. 5	11.15	11. 5	11. 6	11.22	11.16	11. 9
大船渡	10.27	11. 5	10.31	11.23	11.11	11. 6	11.22	11.18	11. 9
酒田	11.19	11.12	11.16	11.24	11.20	11.16	11.22	11.17	11. 2
山形	10.27	10.24	11. 7	10.27	10.29	11. 7	11.23	11.16	11. 5
仙台	11.15	11. 6	11. 7	11.24	11.16	11. 7		11.22	11. 9
福島	11.15	11. 6	11. 7	11.15	11.11	11. 7	12. 4	11.24	11. 9
若松	11. 5	10.28	11.17	11.18	11. 6	11.17	11.22	11.17	10.28
小名浜		11.11	11. 5		11.19	11. 7		12.13	11. 9

初冠雪

山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年
八甲田山	1584	10. 5	10.16	10.22	朝日岳	1870	10.17	10.19	10.29
岩木山	1625	10. 5	10.15	10.24	カントサン 雁戸山	1485	10.24	10.28	10.29
バシカミダケ 階上岳	740	12. 4	11.12	11. 9	リュウサン 滝山	1362	10.24	10.30	10.28
太平山	1170	11.23	10.31	10.28	泉ヶ岳	1175	11.17	11. 6	10.29
岩手山	2038	10. 5	10.13	10.22	蔵王山	1841	10.24	10.23	10.29
五葉山	1351	11.23	11. 7	10.29	吾妻山	1949	10.24	10.21	10.28
鳥海山	2236	10. 5	10. 9	10.11	イイデサン 飯豊山	2105	10. 4	10.17	10.26
月山	1984	10.17	10.15	10.25	磐梯山	1819	10.24	10.24	10.28

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。